

## 問 中学校の部活動の 現状と改革は

### 答 教員の長時間勤務の解消に努める



あべ こうし 議員

**問** 教職員の時間外勤務、特に部活動指導が学校教育に深刻な悪影響をもたらした。教員は残業代がなく、教職調整額（給料月額額の4%）がただで実質は「定額働かせ放題」状態。中学校部活動の現状と改善策を伺う。

**答** 部活動は人間形成の機会であり、豊かな学校生活を実現する役割がある。教員が担う必要のない業務だが、教員の献身的な勤務によって支えられ、長時間勤務の要因である。教員の負担軽減と生徒の疲労解消のため、令

和元年度から朝の練習をなくし、令和3年度から月・木曜、土・日のどちらかを休養日とした。また複数顧問体制で長時間勤務の改善が図られている。現在、地域部活動への移行に向けた検討を始めた。



楽しいことが大事。すぐ暗くなる冬の部活

**問** 外部指導員は教職員には助かるが、生徒や保護者の負担軽減にさほどの影響はない。勝利至上主義に陥らず楽しく行うという原点に帰るのが大事では。

**答** 外部指導員は生徒の多様なニーズを踏まえ、生徒が参加しやすい運営をしていく。

## 問 地域コミュニティの 活性化は

### 答 地域と一緒に考えて取り組む



公明党  
うえき しんしゅ 議員

**問** コロナ禍を受け地域活動が制限されていたが、少しずつ以前の状態に戻りつつある。自粛期間中は日常的な行事の大切さや、地域行事の考え方を振り返る機会にもなったと考える。そこで自治会での行事の持ち方などどう取り組むのか。

**答** 村では、「イベント実施のガイドライン」の作成や「コロナ禍での自治会活動」をテーマにした自治会長同士の意見交換会などを開催してきた。今後は、これまでの活動の意義を振り返り「真に

必要な活動は」など持続可能な自治会活動に向け、負担軽減策などを共に考え取り組む。

**問** 地域コミュニティの活性化に向けては、どう分析しているのか。その地域の人財や地域資源に着目することが重要であるが、見解は。

**答** 各地域の持つ特色ある歴史・文化・環境などの地域資源や人的資源に着目することで、さまざまな方々がさまざまな分野で活躍できる機会の創出も可能となる。今後は、そうした視点で地域と一緒に考えて取り組んでいく。



しめ縄作りの様子  
青少年育成村民会議舟石川支部提供